

令和4年度南城市内幼児教育施設・小規模保育施設巡回訪問実践報告

I 令和4年度 南城市内幼児教育施設巡回訪問要項

南城市教育指導課幼児教育係り

- 1 趣 旨 南城市内の幼児教育施設を訪問し、子どもの実態と保育状況の把握、意見交換を実施することにより、今後の研修計画に活かし南城市幼児教育の充実に資する。
- 2 訪問時期 （様式1）により訪問計画を事前に幼児教育施設へ依頼し調整する。
- 3 意見交換内容
（様式2）により「園の取り組み」提出をFAXで依頼する。
内容 ①教育・保育目標〈育てたい子ども像、今年度の重点目標〉
②遊びの展開、環境とのかかわり、保育士・保育教諭等とのかかわり、その他
③自園の良さ
- 4 訪問方法 幼児教育施設現状把握のため3歳児～5歳児在園の全施設を訪問する。
（幼稚園、認定こども園、保育園、認可外保育園）
- 5 準備物 特になし。事前に訪問資料「園の取組」の提出を求める。
- 6 参観対象 全クラス
- 7 訪問者 幼児教育アドバイザー：大城 美恵子
幼児教育推進コーディネーター：伊集 恒子
※教育指導課参事（與儀毅）、教育指導課課長（嶺井利宣）、係長（城間真由美）、子育て支援課係長（大城奈々子）、保育園係（親川裕子）は可能な日に参加する。
- 8 事 後 各園の子ども達の素敵な姿や感動した写真を提供し、共に保育のあり方を考える機会とする。（写真は園のみで活用し、他へ配信しない）
- 9 その他 1回目は全園訪問し2回目以降は希望園へ訪問する。

令和4年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城美恵子	実施場所	各 園
実施日時	2022年5月17日～9月28日		
事業の名称	保育の質向上に向けて「南城市幼児教育施設巡回訪問」31園 【公立幼稚園：4園 認可保育所：17園 認定こども園：6園 認可外保育所4園】		
参加者	○教育指導課幼児教育係（3名） ・幼児教育アドバイザー：大城美恵子 ・幼児教育推進コーディネーター：伊集恒子 ・幼児教育係長：城間真由美 ○子育て支援課（2名） ・子育て支援課係長：大城奈々子 ・保育支援員：親川裕子 ○園の参加者(懇談時) 園長、主任、他（年長組担任等）		
1 内容	<p>◎ 施設類型を問わず全園訪問する。（公私立幼稚園・こども園・保育所）</p> <p>○ 保育参観(60分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点：教育要領・保育指針を踏まえた保育実践が行われているか。 子どもの姿、環境の構成、保育者のかかわり等 <p>○ 懇談(45分間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーにより本事業の趣旨について説明 (施設類型を問わず保育の質向上について、保幼この学びを小学校へつなぐ等) ・事前に「園の取組」を提出してもらい、保育目標や保育の現状を把握し懇談時に活用する。 ・保育参観者が感想を述べる。 (子どもの姿、保育者の関わり、環境の構成、園の雰囲気等) ・園長・主任から教育目標、自園のいい所、その他について述べる ・園への質問・要望等 (教育要領・保育指針に基づくこと、主体的な保育、遊び込みについて) 		
2 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育施設との関係性の構築ができた。 ・教育要領、保育指針等の理解を促すことが出来た。 ・子どもの主体性を尊重する保育について知らせることができた。 		
3 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園教育・保育要領や保育所保育指針(H30年版)が保育者の手元にない園もあり理解の浸透が望まれる。 ・子どもの主体性を尊重する保育の展開が望まれる。 		
4 対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針や認定こども園教育・保育要領に基づいた保育の大切さを伝える。 (保育施設園長会、主任会、保育士等研修会、園内研修等において) ・子育て支援課：保育士等研修会の継続。アンケート実施により課題を把握し次年度に生かす 		
6 アンケートへの回答	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を支援し、保育実践指導を中心に訪問指導を実施していく。(希望園を募る) ・指導計画(期・週日案)作成の支援。 ・4歳児まで在園の園⇒保幼小連携事業へ参加 ・子育て支援課；OT巡回の継続(特別支援教育) ・ナース等の研修会は情報収集する。 		



II 令和4年度 南城市内小規模保育園巡回訪問要項

教育指導課幼児教育係&子育て支援課

- 1 趣 旨 南城市内の小規模保育施設を訪問し、子どもの実態と保育状況の把握、意見交換を実施することにより、今後の研修計画に活かし南城市幼児教育の充実に資する。
- 2 訪問日程 (様式1)により訪問計画を事前に小規模保育施設へ依頼し調整する。
- 3 参観時間 9:30~10:00 (30分) 0歳児~2歳児学級
懇談会 10:00~11:45 (45分)
- 4 懇談内容
(様式2)により「園の取り組み」提出をFAXで依頼する。
内容 ①教育・保育目標〈育てたい子ども像、今年度の重点目標〉
②子どもの様子、遊びの様子、保育士等とのかかわり
その他
③貴園の良さ
- 5 訪問者 幼児教育係 : 幼児教育推進コーディネーター伊集恒子
幼児教育アドバイザー 大城美恵子
幼児教育係長 城間真由美
子育て支援課: 保育支援員 親川裕子
係長 大城奈々子
※3~4名で訪問します。
- 6 準備物 事前に訪問資料「園の取組」の提出をお願いします。
園における準備物はありません。
- 7 事後 子ども達の素敵な姿や感動した写真を貴園へ提供し、共に保育のあり方を考える機会とする。

令和4年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城美恵子	実施場所	各 園
実施日時	2022年11月8日～11月30日		
事業の名称 (小規模保育園5園)	保育の質向上に向けて「南城市幼児教育施設巡回訪問」小規模保育園 かりゆしキッズ保育園、さくら保育園、ゆうな保育園、つはこきらきら保育園 知念あさひ保育園		
参加者	○教育指導課幼児教育係（3名） ・幼児教育アドバイザー：大城美恵子 ・幼児教育推進コーディネーター：伊集恒子 ・幼児教育係長：城間真由美 ○子育て支援課（2名） ・子育て支援課係長：大城奈々子 ・保育支援員：親川裕子 ○園の参加者(懇談時) 園長、主任等		
1 内容 ◎ 小規模全園訪問する。(5園) ○ 保育参観(30分) コロナ禍により時間短縮 ・視点：保育所保育指針を踏まえた保育実践が行われているか。乳幼児期に関わるねらい及び内容の理解がなされているか。 子どもの姿、環境の構成、保育者のかかわり等 ○ 懇談(45分間) ・アドバイザーにより本事業の趣旨について説明 (施設類型を問わず幼児教育施設全園巡回訪問の意義等) ・事前に「園の取組」を提出してもらい、保育目標や保育の現状を把握し懇談時に活用する。 ・保育参観者が感想を述べる。 (子どもの姿、保育者の関わり、環境の構成、園の雰囲気等) ・園長・主任から教育目標、自園のいい所、その他について述べる ・園への質問・要望等 (保育所保育指針に基づくこと、安心・安全・愛着形成等)			
2 成果 ・小規模保育園との関係性の構築ができた。 ・保育所保育指針等の理解を促すことが出来た。小規模保育園においても、子どもの主体性を尊重する保育の展開の大切さについて知らせることができた。 ・乳幼児保育は愛着関係の形成が重要であることを伝えることができた。			
3 課題 ・保育所保育指針(H30年版)が保育者の手元がない園もあり理解の浸透が望まれる。 ・0歳児から好きな遊びを選んで遊ぶ主体的な保育の展開等。			
4 対応策 ・保育所保育指針に基づいた保育の大切さを伝え、資料の配布 (小規模保育園園長会研修会等にて講話) ・子育て支援課：保育士等研修会の実施			

